

**地域密着型通所介護「北町リハビリデイサービス ころろ」
運営推進会議 議事録【2025年第1回】**

日時	2025年3月17日(月)			場所	北町リハビリデイサービス ころろ		
利用者	1名	地域代表様	1名	地域包括	1名	通所介護	1名
家族				市職員	1名	通所介護	1名
■ 議題				■ 議事内容			
<p>1、活動状況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ○登録者数 ○介護度内訳 ○活動内容 <p>2、活動状況の評価・意見</p> <p>3、感染症対策について</p>				<p>1、活動状況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の利用者様の合計人数は27名 ・介護度内訳 事業対象者0名、要支援4名、要介護23名 ・平均介護度 0.87 ・平均年齢 男性 89.3 女性 88.8 合計 89.3 ・活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ○地域密着の身体のケアに特化したデイサービス。午前と午後の2部制で定員が10名。約3時間の短時間のサービス。 ○集団運動・個別運動による筋力・体力の向上・維持を目標に運動指導 ○身体の疼痛部位や原因部位へ手技による個別ケア ○リラクゼーションの時間で心身の安定を図る。 <p>利用者様のご状態に合った運動プログラムを作成、提供し交流も楽しんで頂いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○個別ケア マンツーマンでリハビリ指導・可動域訓練・痛みや拘縮へのストレッチなど、ご利用者様1人1人のお身体の状態・要望に合わせてケアを行っています。 <p>2、ご意見・評価</p> <p>『ご利用者様』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・痛みがあり辛かったが今ではなくなったので身体も楽になった。 ・機械での運動は苦手なのでみんなと運動するのは楽しい。 <p>『ご家族様』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ころろさんは心身のケアになっているので助かっている。 <p>『他利用者様の声』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肩が上がらなく辛かったが今では上がるようになった。 ・以前は床から立ち上がるのが難しかったが出来るようになった。 <p>3、感染症対策について</p> <p>コロナ禍同様引き続き下記の対策は継続していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コップは使い捨ての紙コップを使用 ○マスク着用は個人の判断にゆだねると政府の判断だが、通所時は今後も着用して頂くようにする。 ○職員の外出・外食を控えるよう徹底 ○毎日の検温、手洗い・うがい・こまめな手指消毒の徹底 ○アクリル板の設置・換気 ○今まで通りの行動制限は継続しご利用者様・当デイサービスを守っていく。 			

■ 議題	■ 議事内容
<p>●イベント: 年末に雷おこしの詰め放題イベントを行った。かなり好評だったので今後も継続していきたい。春にご利用者様とお花見予定。 去年はお花見の時期に雨が多かったので今年は皆さんも期待している。</p> <p>他事業でふれあい&ペットショップ事業を開始するので、利用者様にもイベントでかわいい動物、珍しい動物などふれあいの場を設け癒しなど提供できると思う。ただ怪我をしないよう十分注意が必要。</p> <p>地域住民の方との交流で去年はふれあい夏祭りを行ったが暑さの問題があったため今年は春か秋に開催したい。前回は当施設の壁に張り紙、北町コミュニティーセンターでの張り紙、当日公園でのチラシ配布のみでしたが今年はどうするか。他に方法はるか。</p> <p>機能訓練の全体運動のメニューは曜日により多少違う内容ではありますが覚えて自宅でも出来るようになるべく変わらないメニューを行っています。一部の方からは違うメニューでもやりたいとのご意見もある。</p> <p>『結論』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクリル板の設置はまだしばらく継続していく。 ・動物とのふれあいのイベントや地域住民とお祭り交流はご指摘があった感染症を100%防げるものではなく、提供時間考慮など無料で行うには手間と時間がかかりすぎる点で今後は行わないと決定。 ・運動メニューについては覚えて自宅でも行うことを基礎にご理解いただこうと思います。 	<p>4, ご意見・助言 【武蔵野市高齢者支援課】 アクリル板は他の施設でも設置していないところもあるが加湿器を多く置いていたりする。 地域住民との交流の宣伝は市報に載せるという手もあるが広報課によってしまう。 ふれあいは動物由来の感染症に気を付けなければならない。利用者様にもふれあいを提供する場合提供時間内に行ってもよいかなど確認が必要と思う。</p> <p>【吉祥寺ナーシングホーム在宅介護・地域包括支援センター】 アクリル板は必要ないとは言えない。 ナーシングでも食事中は設置している。 利用者様とのイベントで動物のふれあいは提供時間内のプログラムではない時間に行ってもよいか。アニマルケアという観点として行ってよいかなど確認が必要と思う。 運動に関してころさんの運動を自宅でも行ってもらえるようにというのが施設の考えでしたらそれを説明し理解してもらうのが良いと思う。</p> <p>【民生委員】 アクリル板の設置は見なくなっていますがご利用者様の年齢や介護内容などから注意が必要と思います。 病院などは必ずマスク着用になっている事がある。 ふれあいイベントで動物とのふれあいで「かわいい」ということで癒されますがやはり感染症やアレルギーなどが気になる所です。 運動メニューは各自少しでも覚えて頂くことでとても有効な方法だと思います。</p>